

問7-1 問7で「1」～「4」に○をつけた方にかがいます。
 祖父母等の親族や友人・知人に宛名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 安心して子どもをみてもらえる |
| 2. みてもらう人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|-------|--------|
| 相談できる人 | 1. いる | 2. いない |
| 相談できる場所 | 1. ある | 2. ない |

問8-1 問8で「1」に○をつけた方にかがいます。
 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|-------------------|-----------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 | 4. 小学校の先生 |
| 5. かかりつけの医師 | 6. 生駒市健康課 | | |
| 7. 生駒市役所の子育て関連担当窓口（教育総務課・教育指導課・こども課） | | | |
| 8. 子育て支援総合センター たっち | | 9. こどもサポートセンター ゆう | |
| 10. 教育支援施設 | 11. 子ども・若者総合相談窓口（ユースネットいこま） | | |
| 12. 奈良県郡山保健所 | 13. 民生児童委員 | 14. インターネットの交流サイト | |
| 15. その他 () | | | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

①～⑧の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。③④は（ ）内に数字でご記入ください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

項目		母親	父親	
①就労の有無 ※育休等・育休 産休 介護休		1. 就労している（育休等を含む） 2. 学生（専門学校生・大学生・大学院生等） 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない 4. 就労したことがない	1. 就労している（育休等を含む） 2. 学生（専門学校生・大学生・大学院生等） 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない 4. 就労したことがない	
就労している場合	②就労形態 ※フルタイム…1週当たり5日程度、1日当たり8時間程度の就労	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 ↓ ①育休中等 ②育休中等ではない	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 ↓ ①育休中等 ②育休中等ではない	
	③1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（もっとも多いパターン）	就労日数 1週当たり（ ）日 就労時間 1日当たり（ ）時間 (残業時間を含む)	就労日数 1週当たり（ ）日 就労時間 1日当たり（ ）時間 (残業時間を含む)	
	④家を出る時刻と帰宅時刻（24時間制でお答えください。例：帰宅時刻 19時）	1. 家を出る時刻 （ ）時 2. 帰宅時刻 （ ）時	1. 家を出る時刻 （ ）時 2. 帰宅時刻 （ ）時	
	⑤ ②で2. パート・アルバイト等で就労しているに○をつけた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	
就労していない場合	⑥就労又は修学希望はありますか	1. 就労又は修学したい 2. 就労又は修学したくない	1. 就労又は修学したい 2. 就労又は修学したくない	
	就労したい場合	⑦希望の就労又は修学形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等（1. 以外での就労） 3. 専門学校生・大学生・大学院生等	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等（1. 以外での就労） 3. 専門学校生・大学生・大学院生等
		⑧希望の就労又は修学時期	1. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃 2. すぐにでも、もしくは1年以内	1. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃 2. すぐにでも、もしくは1年以内

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの現在の平日の放課後（小学校終了後）の過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとに当てはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つ選んで表に番号をご記入ください。

14～16時	16～18時	18～20時	20時以降

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1. 学校にいた | 2. 放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした |
| 3. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした | 4. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごした |
| 5. 家で一人で過ごした（宛名のお子さん以外に誰もいない状態） | 6. 友だちの家に行った |
| 7. 公園などで友だちと遊んでいた | 8. 児童館などの公共施設にいた |
| 9. クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をしていた | |
| 10. 学習塾や習いごとに行っていた | |
| 11. その他（ | ） |

問11 宛名のお子さんについて、平日の放課後（小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたかった・過ごさせたいと思いますか。学年別に、それぞれ希望する1週あたりのおおよその日数を数字でご記入ください。「6」については、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

※宛名のお子さんが設問の学年に当てはまらない場合も「希望」としてご記入ください。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	日	日	日	日	日	日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	日	日	日	日	日	日
3. 学習塾や習いごと	日	日	日	日	日	日
4. 児童館	日	日	日	日	日	日
5. 放課後子ども教室	日	日	日	日	日	日
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで
7. ファミリー・サポート事業 （地域住民が子どもを預かる事業）	日	日	日	日	日	日
8. その他（公民館、公園など）	日	日	日	日	日	日

※放課後子ども教室・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・文化芸術活動などを体験する取組です。

※放課後児童クラブ（学童保育）・・・保護者が就労などにより放課後家庭にいない子どもに対して、小学校の敷地内等において支援員（指導員）のもと、適切な遊びや生活の場を提供するものです。利用には一定の利用者負担が発生します。

問12 問11で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望しますか。

それぞれについて当てはまる番号の欄に○をつけてください。また、「1」に○をつけた方は利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
土曜日	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						
日曜日 祝日	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						
長期休暇中	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで教育・保育事業が利用できなかったこと（学校を休んだり、放課後児童クラブ（学童保育）が利用できなかったこと）はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問13-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

1年間の対応	総日数
1. 休みをとった → ①父親がとった	()日
②母親がとった	()日
(休みをとらず対応した場合)	
2. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	()日
4. 病児・病後児のための保育施設等を利用した	()日
5. ベビーシッターを利用した	()日
6. 子どもだけで留守番をさせた	()日
7. その他 ()	()日

問13-2 問13-1で「1」に○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、利用したかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった → ()日
2. 利用したいとは思わなかった

問13-3 問13-2で「1」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
4. その他 ()

問13-4 問13-2で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）がよくない	
4. 利用料がかかる・高い	5. 利用料がわからない
6. 自分が事業の対象者になるのかわからない	7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
8. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	9. 父母（のいずれか）が仕事を休んで子どもをみる
10.（同居者を含む）親族・知人が子どもをみてる	
11. その他（	）

問13-5 問13-1で「3」から「7」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「7」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたかった → （ ）日
2. 仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい

問13-6 問13-5で「2」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みが取れない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. 仕事の調整がつかない
5. その他（
）

宛名のお子さんの地域子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問14 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

①～③の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
①健康課の情報・相談事業	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②教育支援施設	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③子ども・若者総合相談窓口 （ユースネットいこま）	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

宛名のお子さんの不定期な教育・保育事業や一時預かり等の利用についてうかがいます。

- 問15 宛名のお子さんは現在、日中の定期的な教育・保育事業や病気のため以外に、保護者の用事や不定期の就労等の目的で教育・保育事業を不定期に利用していますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、1年間のおおよその利用日数を（ ）内に数字でご記入ください。

利用している教育・保育事業	利用日数
1. ファミリー・サポート事業	()日
2. 子育て短期支援事業：ショートステイ、トワイライトステイ (児童養護施設で一定期間・夜間等、子どもを保護する事業)	()日
3. ベビーシッター	()日
4. その他 ()	()日
5. 利用していない	

- 問15-1 問15で「5」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他 ()

- 問16 宛名のお子さんについて、保護者の用事や不定期の就労等の目的で、年間何日くらい教育・保育事業を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	合計 ()日
①私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	()日
②親や子ども(兄弟姉妹を含む)の通院、冠婚葬祭、学校行事等	()日
③不定期の就労	()日
④その他 ()	()日
2. 利用する必要はない	

問16-1 問16で「1. 利用したい」に○をつけた方うかがいます。
 問16の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート事業等）
4. その他（ ）

問16-2 問16で「1. 利用したい」に○をつけた方うかがいます。
 この1年間に、保護者の用事等により、宛名のお子さんを泊りがけで父母以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

1年間の対処方法		日数
1. あった	①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	② 子育て短期支援事業：ショートステイを利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	④ 子どもを同行させた	（ ）泊
	⑤ 子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	⑥ その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問16-3 問16-2で「1. ①」に○をつけた方うかがいます。
 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

問19 問17で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にかかいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問19-1 問19で「1」に○をつけた方にかかいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問19-2 問19で「1」に○をつけた方にかかいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

また、職場の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

() 内に数字でご記入ください。

母親	父親
実際の復帰時期 () 歳 () ヶ月 希望 () 歳 () ヶ月	実際の復帰時期 () 歳 () ヶ月 希望 () 歳 () ヶ月

問19-3 問19で「1」に○をつけた方にかかいます。

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

母親	父親
() 歳 () ヶ月	() 歳 () ヶ月

問19-4 希望の時期に復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 希望する保育所に入所するため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()	1. 希望する保育所に入所するため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()

(2)「希望」より遅く復帰した場合 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 希望する保育所に入所できなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()	1. 希望する保育所に入所できなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()

問19-5 問19で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)

問19-6 問19-5で「3」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申込の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 9. その他 ()	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申込の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 9. その他 ()

小学校・中学校の規模についてうかがいます。

問20 少子化に伴い、市立の小学校・中学校の子どもの数が減少しており、1学年1クラスの小学校・中学校があり、今後、小規模な小学校・中学校が増加していくことが予想されます。市立の小学校・中学校が小規模化していくことについてどう思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 望ましい	2. どちらかといえば望ましい
3. どちらかといえば望ましくない	4. 望ましくない
5. わからない	

問23 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。
お忙しい中、最後までアンケートにご記入いただきまして、ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、6月28日(金)までに郵便ポストにご投函ください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。